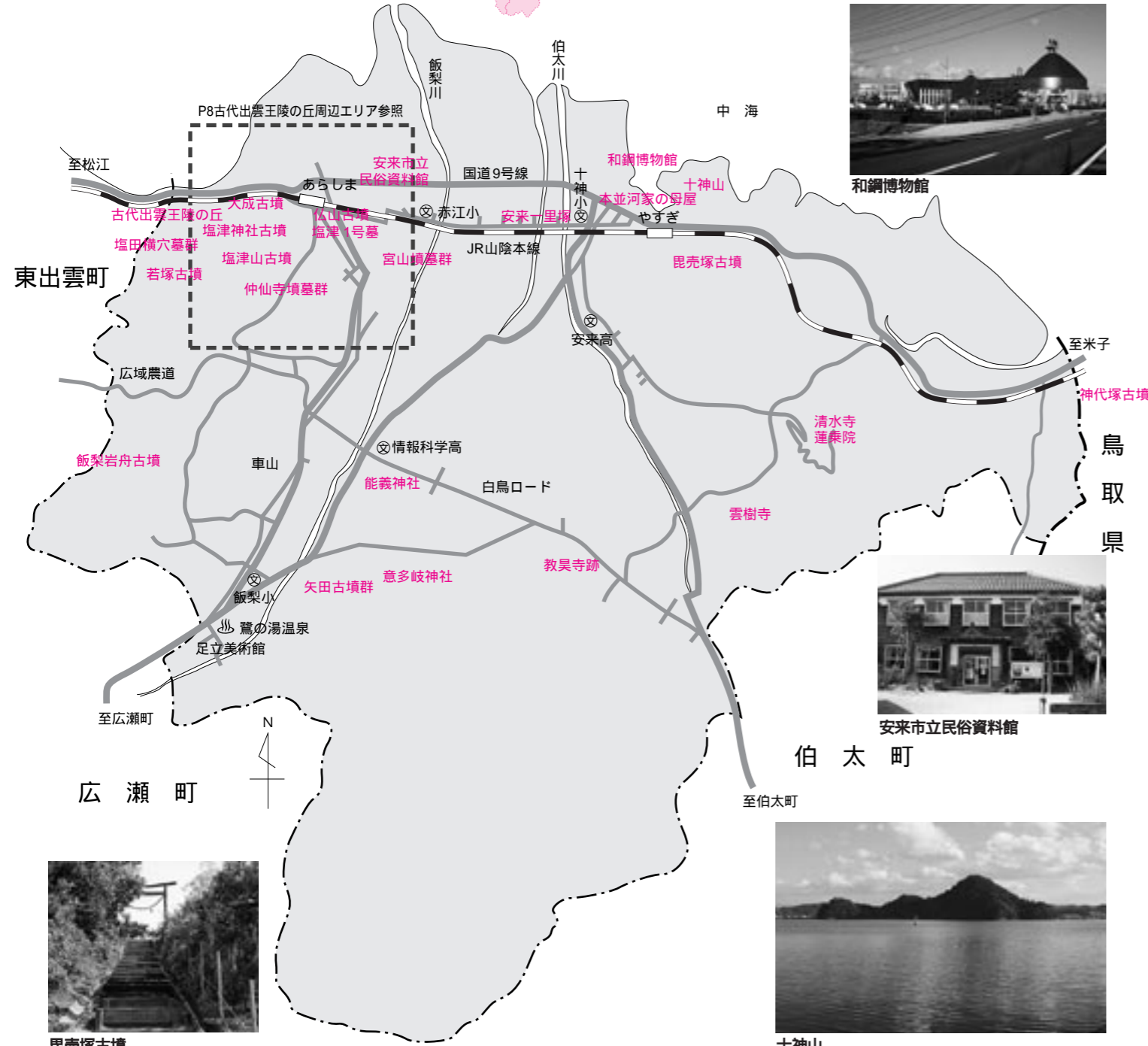
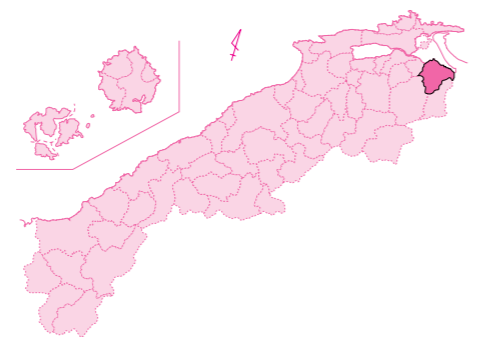


製鉄、古墳のメッカ  
大きな寺院もあるよ

# 安来市



安来一里塚



安来一里塚



安来市立民俗資料館



十神山



毘売塚古墳



飯梨岩舟古墳



雲樹寺



能義神社



清水寺

## 近世交通の遺跡 安来一里塚



安来市安来町  
＜指定＞国・史跡  
国道9号線から旧道沿いにはいった、十神小学校南の細い道沿いにある。旧山陰道沿いに設けられた江戸時代の一里塚で、道の両側にそれぞれ1カ所、南塚と北塚が残っている。以前は松の原木が生えていたが、現在は枯れてなくなっている。  
＜交通＞JR安来駅からバス10分 十神小学校前下車すぐ。

## じいちゃんの使った道具がいっぱい 安来市立民俗資料館



安来市赤江町  
暮らしの機械化によって、現在ではほとんど使われなくなった田畑での道具や漁具など、いろいろな生活の道具が展示されている。常時開館していないので、安来市教育委員会に事前の連絡が必要。入館無料。  
＜交通＞JR安来駅から車15分 赤江小学校そば。  
＜連絡先＞0854-22-2149(安来市教育委員会)

## 最新の展示技術を駆使 和鋼博物館



安来市安来町  
＜指定＞国・重要有形民俗文化財  
中海の湖岸に1993年オ・ブンした、鉄の総合博物館。ロボットや模型、ハイビジョン映像を使って、鉄のことをやさしく解説してくれる。収蔵しているたたら製鉄用具は国指定重要有形民俗文化財。珍しい天坪ふいごや日本刀も展示。館内にはレストランも併設され、安来港の夜景を楽しむながらの食事もできる。9時から5時。水曜休館。大人700円、中高生500円、小学生300円。  
＜交通＞JR安来駅から徒歩15分  
＜連絡先＞0854-23-2500  
＜いにしえ＞1巻P35

## 江戸時代の商家 本並河家の母屋



安来市安来町  
＜指定＞市・建造物  
大市場商店街の筋違いの通りにひっそりとたたずむ、江戸時代に建てられた商家。安来の古い町並みの面影を残す貴重な建物だ。明治初めには安来郵便局だった。  
＜交通＞JR安来駅から徒歩10分

## 古墳もある風土記の山 十神山



安来市十神町  
安来駅の北側、中海に突き出した円錐形の美しい山。『出雲国風土記』には「砥神島」と記されており、当時は島だったらしい。頂上には石棺を持つ古墳があり、また中世には山城として利用されていた。安来市内からはどこからも見える山だ。登山道も整備されているので、家族でのハイキングにぴったり。  
＜交通＞JR安来駅から徒歩10分  
＜いにしえ＞5巻P28

## 伝説の少女の墓か 毘売塚古墳



安来市黒井田町  
＜指定＞県・史跡  
安来駅の南、十神山の角に延びる丘の上にある全長約42mの前方後円墳。調査により、石棺から鉾や剣、よろいなどが出土した。『出雲国風土記』に、娘をワニザメに殺された男がそのサメを退治した伝説が記されているが、この古墳はその娘を葬った墓という伝承がある。登山道がついていて簡単に見られる。  
＜交通＞JR安来駅から徒歩10分  
＜いにしえ＞3巻P23、5巻P31

## 自然とマッチした大伽藍 清水寺



安来市清水町  
＜指定＞国重文・建造物(根本堂)・彫刻、県・建造物(三重塔)・工芸・彫刻ほか  
安来市街の南側にそびえる清水山の斜面を巧みに利用して伽藍を配置した、県内有数の大規模な寺院。大伽藍の中心となる根本堂は室町時代の建造で、約20m四方、高さ14mと、県内最大の寺院建築(国重文)さらに奥には県内唯一の三重塔の美しい姿がそびえている(県指定)貴重な宝物も多く、宝蔵に納められ、拝観もできる。境内5万坪といわれる清水公園は、安来随一の自然の宝庫。春から初夏にかけての桜やつつじ、秋の紅葉はすばらしい。  
＜交通＞JR安来駅からバス15分 清水寺前下車すぐ。  
＜連絡先＞0854-22-2151  
＜いにしえ＞6巻P38

## シンプルな造形美あふれる茶室 蓮乗院



安来市清水町  
＜指定＞県・建造物(古門堂茶室など)  
清水寺本堂のすぐ下方にあるのが蓮乗院。県の有形文化財である茶室のシンプルな造形と、三重塔を借景にした景色はすばらしい。  
＜交通＞JR安来駅からバス15分 清水寺前下車すぐ  
＜連絡先＞0854-22-2046

## 古代人の技術に驚嘆 飯梨岩舟古墳



安来市岩舟町  
＜指定＞国・史跡  
飯梨川から京羅木山方向に、谷をかなり登った山の斜面にある古墳。きれいな板状に切った石を組み合わせた美しい石棺式石室が露出していて、中に入ることもできる。石と石の組み合わせの妙や家形に加工された天井など、古代の高い技術がわかる。その精美さは、集落が岩舟と名付けられたことからもうかがうことができよう。  
＜交通＞JR安来駅から車20分  
＜いにしえ＞1巻P24

## 『出雲国風土記』四大神の1つ 能義神社



安来市能義町  
＜指定＞市・史跡  
『出雲国風土記』に熊野、杵築、佐太の各大神と並んで記された四大神の1つ。文久3年(1863)建造とされる本殿は、本格的な大社造りでさすがに壮大だ。出雲を代表する古社の1つ。背後の森の中には円墳が7基あり、市指定文化財。  
＜交通＞JR安来駅から車15分  
＜いにしえ＞6巻P20

## 田んぼに露出した石室 神代塚古墳



安来市吉佐町  
＜指定＞市・史跡  
鳥取との県境に近い吉佐町の田んぼの中に、生け垣に囲まれた小高い高まりがあり、上に大きな石が露出しているの見える。この石は横穴式石室の天井石で、石室の内部は

土で埋もれているが側壁の石なども見える。この古墳には、出雲に遭われた神が葬られているという伝承がある。  
＜交通＞JR安来駅から車20分

## 県内随一の禅寺 雲樹寺



安来市清井町  
＜指定＞国重文・建造物(四脚門)・絵画・銅鐘・書、ほかに県・市指定多数  
安来駅から伯太町へ向かうこと約5km、松並木の長い参道を抜け、四脚門をくぐると二層入り母屋造りの山門がそびえ、その奥に仏殿をはじめとするお堂が並ぶ。禅宗独自の建物が多い、地方の禅寺としては大規模。四脚門は国重文、山門は市指定で、銅鐘などすぐれた文化財を多く所有し、とくに古文書は豊富。四季折々の花々もみごとで、なかでも初夏のつつじは美しい。  
＜交通＞JR安来駅からバス15分 雲樹寺入口下車、徒歩5分  
＜連絡先＞0854-22-2875  
＜いにしえ＞6巻P37

## 風土記に記された古代寺院跡 教皇寺跡



安来市野方町  
＜指定＞市・史跡  
古代の寺の跡。『出雲国風土記』に記された「教皇寺」にあたると思われる、五重塔が建っていたと記されている。現在、神蔵神社の土台石となっているのが塔の心礎で市の指定文化財。周囲からは奈良時代、屋根に使われた瓦などが出土している。  
＜交通＞JR安来駅からバス20分 雲樹寺前下車、徒歩20分  
＜いにしえ＞5巻P31、6巻P31

## そのほかにも...

安来と言えば、なんといっても安来節。毎年8月中旬に市を上げてにぎやかに催される「月の輪祭り」では、安来節日本一をかけた安来節全国優勝大会や、安来節踊りの市内パレードがあり、盛り上がる。市内には保存会もあり、誰でもあの「どじょうすくい」にチャレンジできる(連絡先0854-22-3301「安来節保存会」)  
また安来には古墳が多い。ちょっとハ・ドな山登りを覚悟なら、矢田町矢田古墳群がおすすめ。150基以上のさまざまな古墳がある。ここを訪れたら、近くの飯梨小学校の校庭にある石棺ものぞいてほしい。

## おたっきー情報

「おたっきー」と言えば、意多岐神社(飯梨町)の石器。くわしい出土の様子はわからないが、黒曜石や頁岩製の槍先に使う1万年以上前の石器が神社境内から出土したという。市指定文化財。